

感染症情報 10月8日～14日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	595例(堺市	24例)
②溶連菌感染症	302例(堺市	39例)
③RSウイルス感染症	298例(堺市	12例)
④手足口病	157例(堺市	8例)
⑤ヘルパンギーナ	123例(堺市	4例)

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	69例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比15.8%減の1,770件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週とほぼ同数、堺市では前週より8%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より13%減、堺市では前週53例→39例は26%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週より38%減、堺市で47例→12例は74%の大幅減であった。手足口病は府下で前週より13%減、堺市では前週13例→今回8例であった。ヘルパンギーナは府下で前週より32%減、堺市で10例→4例であった。

インフルエンザが府下で前週が64例で、今回は69例であった(8%増)。堺市では前週が1例で、今回は0例あった。

麻疹の報告はなかったが、風疹が5例あった(堺市では0例)。